



できました。

その他、今期首より実施してきた物流改革によって物流センターの収益性が向上し、営業外収益が増加いたしました。

上記の理由から、売上高は19,600百万円、営業利益は535百万円、経常利益は660百万円、当期純利益は345百万円と当初計画を上回る見込みとなり、業績予想を修正することといたしました。

なお、ドラッグストア業界を取り巻く環境は、所得の低迷により個人消費が回復の兆しを見せていないことや異業種からの参入等による更なる競争の激化が予想されることから、売上高は減少することが懸念されます。このような状況から、当社は期初に計画した売上高の確保に向け、販売促進企画等の営業施策を図ってまいります。それらによって販管費が増加する事が予想されますので、通期の連結業績予想は売上高、利益ともに修正いたしません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上